

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー																																	
科目名	危機管理学方法論 2 (比較研究・外書)																																
担当教員	福田 弥夫																																
対象学年	1年,2年																																
開講学期	後期																																
曜日・時間	火 5																																
講義室	1210																																
授業形態	講義																																
科目大分類	—																																
科目中分類	修士																																
科目小分類	基盤																																
科目の位置付け (開発能力)	・ DPコードー学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 (危機に対する関心と洞察) 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察を開発する。 DP2 (社会科学の知見を統合した知識と技能による現代のさまざまな危機の分析及び解決) 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見 DP4 (多様な価値観や立場の理解) 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力を開発する。 DP1 50% DP2 25% DP4 25%																																
教員の実務経験	なし																																
成績ターゲット区分																																	
科目概要・キーワード	本講では、危機管理学の研究を進める上での基礎となる外国語で書かれた原典の読解についての基礎的スキルを、法学又は危機管理学に関するベーシックな文献を素材とし、比較制度、文化等の文脈を含めて開発する。日本語研究プロセスを通して、意欲・経験・適性の資質を確認するとともに、学識・専門技能等の汎用的能力を開発することを目的とする。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンシに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補充・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード Risk Management, English, Research Skill																																
授業の趣旨	・副題 アメリカ危機管理学を通じた日本との比較研究 英語による危機管理学の文献を輪読して、外国において危機管理学がどのように位置付けられ、そして理解されているかを学びます。また、外国における状況を日本と比較することで、日本における危機管理学の将来の発展に身につけましょう。																																
総合到達目標	・英語文献の輪読を通じて、外国における危機管理学との比較研究の基礎的な方法論を説明できる。第1回から第15回 ・外国のジャーナルなどを通して、外国における危機管理学の最新の議論の状況の説明できる。第10回から第15回 ・修士論文作成の際に、外国文献の正確な引用方法を説明できる。第10回																																
成績評価方法	・外国文献を利用した授業であるので、事前に配布した資料を翻訳して授業に臨むことが不可欠である。 ・授業参加度25% (翻訳の正確さなどを授業中に評価する) DP1 DP2 DP4 ・小テスト25% (フィードバックの方法・次の授業で模範解答を示す) DP1 DP2 ・レポート50% (フィードバックの方法・添削をして受講者に返却する) DP1 DP2																																
履修条件	なし																																
履修上の注意点	特になし																																
授業内容	前半は、Emmett J. Vaughan & Therese M. Vaughan, Fundamentals of Risk and Insurance, Wiley 2013 を輪読しながらアメリカにおけるリスクとリスク・マネジメントについて学ぶ。後半は、Jonathan Bundy, Michael D. Pfarrer, Cole E. Short and W. Timothy Coombs, Crises and Crisis Management*Intergration, Interpretation, and Research Development, Pepperdine University, Pepperdine Digital. <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>イントロダクション (講義の進め方の説明) ①テキストのChapter1 The Problem of Risk (Page 1. Chapter Objectives から Page 3. Uncertainty and Its Relationship to Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの1ページから3ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクの概念を復習する</td></tr> <tr> <td>2</td><td>①Chapter1 The Problem of Risk (Page 4. The Degree of Risk から Page 8. Classification of pure Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの4ページから8ページのClassification of pure riskを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクの度合い、リスクとベリリ、ハザードの違い、リスクのクラス分けの内容を復習する。</td></tr> <tr> <td>3</td><td>①Chapter1 The Problem of Risk (Page 8. The Burden of Risk から Page 10. Managing Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。Page 11 の Question for Review, Questions for Discussion を ②予習120分 テキストの8ページから10ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 11頁のQuestion for Review の内容を復習する。</td></tr> <tr> <td>4</td><td>①Chapter 2 Introduction to Risk Management (Page 12 Chapter Objectives から Page 15. The History of Modern Risk Management) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの12ページから15ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントの歴史について復習する。</td></tr> <tr> <td>5</td><td>①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 15. Enterprise Risk Managementから Page 17. Risk Management Tools) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの15ページから17ページまでを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 ERMの内容を復習する。</td></tr> <tr> <td>6</td><td>①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 18. Risk Controlから Page 23. Position in the Organization) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの18ページ (RISK FINANCING) から23ページのPosition in the Organization までを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントのツールについて復習する。</td></tr> <tr> <td>7</td><td>①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 24. Risk Management and the Individual から Page 29. Probability and priority Rankings) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。 ②予習120分 テキストの23ページから29ページを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントと個人の関係について内容を理解しておく。</td></tr> <tr> <td>8</td><td>①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 29. Consideration of Alternatives and Selection of the Risk Treatment Device から P.31 Risk Management Audits)を輪読しながらリスク 読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスク回避の選択肢について内容を理解しておく。</td></tr> <tr> <td>9</td><td>①「小試験」Chapter2 Introduction to Risk Management Page 31から P.32の Question for Review, Questions for Discussion を行う。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの31ページから32ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 チャプター2全体の復習をする。</td></tr> <tr> <td>10</td><td>①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentのreference (P39以下) を例として、英語文献の引用方法などを学ぶ。DP1.DP2.DP4。また、外国、特にア ②予習120分 テキストの39ページから50ページを読み、アメリカの論文の文献引用についてその内容を理解しておく。 ③復習120分 アメリカの論文の文献引用方法と日本の論文の文献引用の方法の違いを復習する。</td></tr> <tr> <td>11</td><td>①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 1 abstractから Page 9 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマネジメントについて学ぶ。 ②予習120分 テキストの1ページから9ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Crisis and Crises Managementの研究の発展について復習する。</td></tr> <tr> <td>12</td><td>①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 10 External Perspective1 から Pag15 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマネジメントに ②予習120分 テキストの10ページから15ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 stakeholderとの関係を復習する。</td></tr> <tr> <td>13</td><td>①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 16 External Perspectives: Stakeholder Perspectives から Page 23 Summary までを輪読し ②予習120分 テキストの16ページから23ページのSummaryまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 個性あるstakeholderとの関係を復習する。</td></tr> <tr> <td>14</td><td>①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 23 Synthesizing the Perspectives から Page 29 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマ ②予習120分 テキストの23ページのSynthesizing the Perspectives から 29ページのSummaryまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Pre Crisis Preventionについて復習する。</td></tr> <tr> <td>15</td><td>①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 29 Synthesizing the Perspectives から Page 38 Conclusion までを輪読しながら、クライシスマ ②予習120分 テキストの29ページから38ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Crisis and Crises Managementの将来の方向性について復習する。</td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	イントロダクション (講義の進め方の説明) ①テキストのChapter1 The Problem of Risk (Page 1. Chapter Objectives から Page 3. Uncertainty and Its Relationship to Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの1ページから3ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクの概念を復習する	2	①Chapter1 The Problem of Risk (Page 4. The Degree of Risk から Page 8. Classification of pure Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの4ページから8ページのClassification of pure riskを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクの度合い、リスクとベリリ、ハザードの違い、リスクのクラス分けの内容を復習する。	3	①Chapter1 The Problem of Risk (Page 8. The Burden of Risk から Page 10. Managing Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。Page 11 の Question for Review, Questions for Discussion を ②予習120分 テキストの8ページから10ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 11頁のQuestion for Review の内容を復習する。	4	①Chapter 2 Introduction to Risk Management (Page 12 Chapter Objectives から Page 15. The History of Modern Risk Management) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの12ページから15ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントの歴史について復習する。	5	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 15. Enterprise Risk Managementから Page 17. Risk Management Tools) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの15ページから17ページまでを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 ERMの内容を復習する。	6	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 18. Risk Controlから Page 23. Position in the Organization) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの18ページ (RISK FINANCING) から23ページのPosition in the Organization までを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントのツールについて復習する。	7	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 24. Risk Management and the Individual から Page 29. Probability and priority Rankings) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。 ②予習120分 テキストの23ページから29ページを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントと個人の関係について内容を理解しておく。	8	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 29. Consideration of Alternatives and Selection of the Risk Treatment Device から P.31 Risk Management Audits)を輪読しながらリスク 読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスク回避の選択肢について内容を理解しておく。	9	①「小試験」Chapter2 Introduction to Risk Management Page 31から P.32の Question for Review, Questions for Discussion を行う。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの31ページから32ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 チャプター2全体の復習をする。	10	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentのreference (P39以下) を例として、英語文献の引用方法などを学ぶ。DP1.DP2.DP4。また、外国、特にア ②予習120分 テキストの39ページから50ページを読み、アメリカの論文の文献引用についてその内容を理解しておく。 ③復習120分 アメリカの論文の文献引用方法と日本の論文の文献引用の方法の違いを復習する。	11	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 1 abstractから Page 9 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマネジメントについて学ぶ。 ②予習120分 テキストの1ページから9ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Crisis and Crises Managementの研究の発展について復習する。	12	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 10 External Perspective1 から Pag15 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマネジメントに ②予習120分 テキストの10ページから15ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 stakeholderとの関係を復習する。	13	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 16 External Perspectives: Stakeholder Perspectives から Page 23 Summary までを輪読し ②予習120分 テキストの16ページから23ページのSummaryまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 個性あるstakeholderとの関係を復習する。	14	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 23 Synthesizing the Perspectives から Page 29 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマ ②予習120分 テキストの23ページのSynthesizing the Perspectives から 29ページのSummaryまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Pre Crisis Preventionについて復習する。	15	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 29 Synthesizing the Perspectives から Page 38 Conclusion までを輪読しながら、クライシスマ ②予習120分 テキストの29ページから38ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Crisis and Crises Managementの将来の方向性について復習する。
回	内容																																
1	イントロダクション (講義の進め方の説明) ①テキストのChapter1 The Problem of Risk (Page 1. Chapter Objectives から Page 3. Uncertainty and Its Relationship to Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの1ページから3ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクの概念を復習する																																
2	①Chapter1 The Problem of Risk (Page 4. The Degree of Risk から Page 8. Classification of pure Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの4ページから8ページのClassification of pure riskを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクの度合い、リスクとベリリ、ハザードの違い、リスクのクラス分けの内容を復習する。																																
3	①Chapter1 The Problem of Risk (Page 8. The Burden of Risk から Page 10. Managing Risk) を輪読しながらリスクについて学ぶ。Page 11 の Question for Review, Questions for Discussion を ②予習120分 テキストの8ページから10ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 11頁のQuestion for Review の内容を復習する。																																
4	①Chapter 2 Introduction to Risk Management (Page 12 Chapter Objectives から Page 15. The History of Modern Risk Management) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの12ページから15ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントの歴史について復習する。																																
5	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 15. Enterprise Risk Managementから Page 17. Risk Management Tools) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの15ページから17ページまでを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 ERMの内容を復習する。																																
6	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 18. Risk Controlから Page 23. Position in the Organization) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。DP1.DP2. ②予習120分 テキストの18ページ (RISK FINANCING) から23ページのPosition in the Organization までを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントのツールについて復習する。																																
7	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 24. Risk Management and the Individual から Page 29. Probability and priority Rankings) を輪読しながらリスクマネジメントについて学ぶ。 ②予習120分 テキストの23ページから29ページを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスクマネジメントと個人の関係について内容を理解しておく。																																
8	①Chapter2 Introduction to Risk Management (Page 29. Consideration of Alternatives and Selection of the Risk Treatment Device から P.31 Risk Management Audits)を輪読しながらリスク 読み内容を理解しておく。 ③復習120分 リスク回避の選択肢について内容を理解しておく。																																
9	①「小試験」Chapter2 Introduction to Risk Management Page 31から P.32の Question for Review, Questions for Discussion を行う。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの31ページから32ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 チャプター2全体の復習をする。																																
10	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentのreference (P39以下) を例として、英語文献の引用方法などを学ぶ。DP1.DP2.DP4。また、外国、特にア ②予習120分 テキストの39ページから50ページを読み、アメリカの論文の文献引用についてその内容を理解しておく。 ③復習120分 アメリカの論文の文献引用方法と日本の論文の文献引用の方法の違いを復習する。																																
11	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 1 abstractから Page 9 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマネジメントについて学ぶ。 ②予習120分 テキストの1ページから9ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Crisis and Crises Managementの研究の発展について復習する。																																
12	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 10 External Perspective1 から Pag15 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマネジメントに ②予習120分 テキストの10ページから15ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 stakeholderとの関係を復習する。																																
13	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 16 External Perspectives: Stakeholder Perspectives から Page 23 Summary までを輪読し ②予習120分 テキストの16ページから23ページのSummaryまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 個性あるstakeholderとの関係を復習する。																																
14	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 23 Synthesizing the Perspectives から Page 29 Summaryまでを輪読しながら、クライシスマ ②予習120分 テキストの23ページのSynthesizing the Perspectives から 29ページのSummaryまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Pre Crisis Preventionについて復習する。																																
15	①Crises and Crisis Management: Intergration, Interpretation, and Research Developmentの Page 29 Synthesizing the Perspectives から Page 38 Conclusion までを輪読しながら、クライシスマ ②予習120分 テキストの29ページから38ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 Crisis and Crises Managementの将来の方向性について復習する。																																
関連科目	危機管理学方法論 1																																
教科書	Emmett J. Vaughan & Therese M. Vaughan, Fundamentals of Risk and Insurance, Wiley 2013. Pfarrer, Cole E. Short and W. Timothy Coombs, Crises and Crisis Management*Intergration, Interpretation, and																																
参考書・参考URL	授業開始時に指示する。																																
連絡先・オフィスアワー	fukuda.yasuo@nihon-u.ac.jp オフィスアワーは火曜日の5時間目を原則とするが、事前にメールにてアポイントメントを取ること。																																

